

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

コブノメイガの発生状況（技術情報第7号）について（送付）
コブノメイガの発生状況等について、下記のとおり取りまとめましたので防除指導等に御活用ください。

記

1 発生状況

- (1) 7月20日に実施した普通期水稻48ほ場における調査では、発生ほ場率39.6%（平年54.3%）、被害度0.8（平年6.7）、被害株率2.1%（平年15.7%）と平年に比べ低かった（表1、2）。
- (2) 調査を行った普通期水稻48ほ場で、要防除水準（防除上の留意事項を参照）に達しているほ場は認められなかった。

2 飛来状況

- (1) 生産環境研究所（合志市）のフェロモントラップでは、6月3日に初飛来を確認後、6月21～23日に7頭、7月5～7日に5頭が誘殺された。
- (2) 天草農業研究所（天草市）の予察灯では、6月30日に初飛来を確認後、7月2日に1頭、7月11日に2頭が誘殺された。7月1半旬～7月4半旬までの誘殺数は3頭（平年28.7頭）と平年（H11～21）より低かった（表3）。

3 防除上の留意事項

- (1) 普通期水稻では平年に比べて少ない発生ではある。しかし、発生量は箱施薬剤の種類やほ場あるいは地域差があるため、発生状況に注意する。
- (2) ほ場毎に現在の被害株率を確認し、以下に示す要防除水準と発蛾最盛期予測を参考に防除要否、防除時期を判断する。
- (3) コブノメイガの要防除水準は、第2世代幼虫期：第1世代幼虫の被害株率20%以上または第1世代幼虫の被害葉率0.2%以上である。
- (4) 予察灯、フェロモントラップ及び現在発生している幼虫の生育ステージ等から予測される成虫羽化期は、6月21日起算で7月24日、7月5日起算で8月5日と予測される（図1）。
- (5) 第2世代幼虫の防除適期は、本田防除の場合、粒剤が発蛾最盛期（成虫羽化期）、粉剤・液剤は若齢幼虫期（発蛾最盛期から1週間後）である。
- (6) 農薬を使用する際は、安全使用に努める。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

熊本県農業研究センター
生産環境研究所病害虫研究室
予察指導係（病害虫防除所）
担当：山口・東
tel 096-248-6490

表1 発生状況調査（7月20日調査）

地域	地点	被害株率	被害度	被害度	被害株率
熊本	秋津 1	0.0%	0.0	0.6	1.8%
	秋津 2	0.0%	0.0		
	画図 1	10.0%	3.3		
	画図 2	2.0%	0.7		
	中無田 1	2.0%	0.7		
	中無田 2	0.0%	0.0		
	富合 1	0.0%	0.0		
	富合 2	0.0%	0.0		
宇城	宇土 1	0.0%	0.0	0.3	0.8%
	宇土 2	0.0%	0.0		
	城南 1	0.0%	0.0		
	城南 2	0.0%	0.0		
	松橋 1	4.0%	1.3		
	松橋 2	0.0%	0.0		
	不知火 1	2.0%	0.7		
	不知火 2	0.0%	0.0		
玉名	玉名 1	10.0%	4.0	1.3	3.0%
	玉名 2	0.0%	0.0		
	伊倉 1	0.0%	0.0		
	伊倉 2	12.0%	6.0		
	横島 1	0.0%	0.0		
	横島 2	0.0%	0.0		
	和水 1	2.0%	0.7		
	和水 2	0.0%	0.0		
鹿本	山鹿 1	4.0%	1.3	1.8	4.0%
	山鹿 2	0.0%	0.0		
	鹿本 1	0.0%	0.0		
	鹿本 2	0.0%	0.0		
	鹿央 1	4.0%	1.3		
	鹿央 2	10.0%	4.7		
	菊鹿 1	4.0%	1.3		
	菊鹿 2	10.0%	5.3		
菊池	菊池 1	0.0%	0.0	0.3	0.7%
	菊池 2	4.0%	2.0		
	七城 1	0.0%	0.0		
	七城 2	0.0%	0.0		
	大津 1	0.0%	0.0		
	大津 2	0.0%	0.0		
上益城	御船 1	0.0%	0.0	0.8	2.0%
	御船 2	8.0%	3.3		
	甲佐 1	2.0%	0.7		
	甲佐 2	0.0%	0.0		
	嘉島 1	2.0%	0.7		
	嘉島 2	0.0%	0.0		
八代	鏡 1	0.0%	0.0	0.7	2.0%
	鏡 2	0.0%	0.0		
	水川 1	4.0%	1.3		
	水川 2	4.0%	1.3		
平均		2.1%	0.8	(発生ほ場率：39.6%)	

注)普通期水稻 50株調査

被害度については以下の式で求める。

(3A+2B+C)

————— × 100
50 × 3

A：被害葉5枚以上/株

B： " 3~4枚/株

C： " 1~2枚/株

表2 過去の発生状況（7月中～下旬調査）

年 度	発生ほ場率	被害度	被害株率
H14	23.1%	0.4	1.1%
H15	71.4%	15.5	24.2%
H16	44.4%	1.1	3.3%
H17	20.0%	0.8	1.8%
H18	70.0%	5.1	11.0%
H19	86.8%	31.0	86.8%
H20	49.4%	1.5	2.9%
H21	69.4%	4.1	8.2%
H22	39.6%	0.8	2.1%
平年値	54.3%	6.7	15.7%

(H11～21)

表3 予察灯における誘殺数（天草市本渡）

月 / 半旬	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	平年値 (H11 ~ H21)
6/1	0	0	0	0	0	0	0	0.5
2	0	0	0	0	0	0	0	4.5
3	0	0	0	0	0	0	0	1.5
4	0	0	0	0	0	0	0	1.6
5	0	0	1	0	0	1	7	1.1
6	1	0	2	0	0	3	2	8.6
7/1	0	3	51	-	0	5	1	12.6
2	9	14	9	-	0	3	0	5.0
3	1	14	3	-	5	0	2	6.6
4	2	0	0	-	3	0	0	4.5
5	2	0	4	-	5	0		2.1
6	0	2	0	0	3	1		4.5
合計	15	33	70	-	16	13	12	55.3

故障による欠測であるため平年値及び平均値から除いた

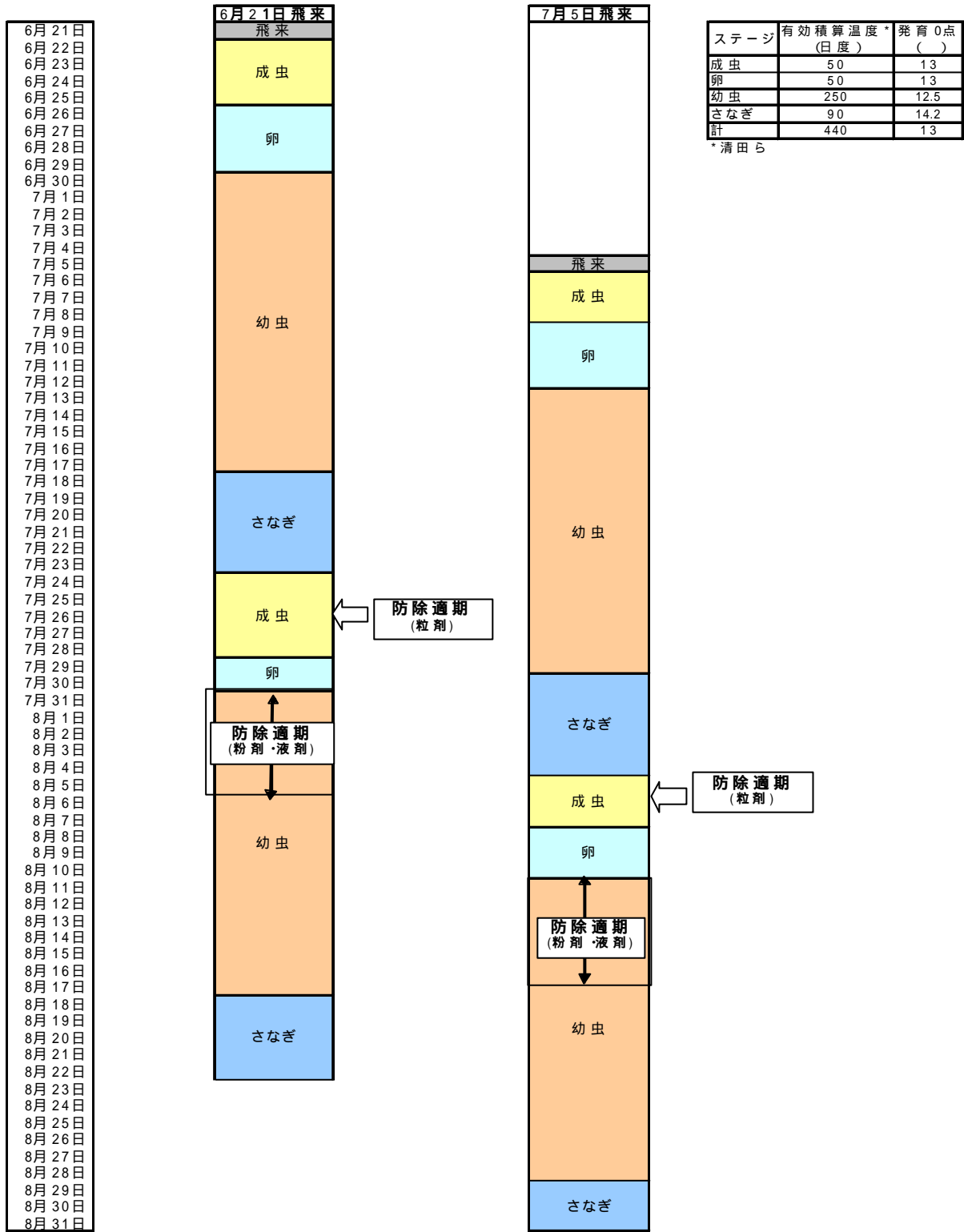


図1 次世代成虫発蛾最盛期予測 (熊本市のアメダスデータを使用)